

# 金箔ジーンズ 米デビュー

## 金沢の衣料品店 工芸PR

### 来月、ラスベガスで出展

### 特殊加工で耐久性高め

金沢市大額3丁目の衣料品店「MAGIC(マジック)」は、独自技術で金沢の金箔をポケットに貼り付けた「金箔ジーンズ」を製作した。2月には、米国で開催される北米最大級の Apparel 展「マジック」へ出展することが決まっております。金沢に息づく伝統工芸を生かした新たなファッションとして、ジーンズの本場にアピールする。

金箔ジーンズは、生地が藍色と黒色の2種類で、それぞれの尻ポケットに金箔や銀箔を貼り付けた。耐久性が高まる特殊な加工を施しており、洗濯してもはがれない仕上がりとされた。生地は国産デニムの発祥地である岡山県倉敷市の業者に発注し、ボタンや金具なども国産にこだわった。店の木戸智一代表(48)によると、アパレル展は約6千以上のファッションブランドが集まり、会期中には100カ国以上から約7万5千人が来場する見込みという。MAGICは金箔ジーンズや、金箔、銀箔で彩ったポケット付きのTシャツも並べる。

木戸口さんは、生地の色落ちや痛みなどが個性として扱われるビンテージジーンズに魅せられ、1993年に衣料品店をオープンさせた。現在の店名は、展示会「マジック」へ出展することを夢見て2005年に命名しており、2月でその夢がかなうことになる。

これまでも、金沢の伝統工芸を用いて独自性を出そうと、加賀友禅をあしらったジーンズを作ったこともあった。金箔を生地に貼り付ける技術は「印箔」と名付け、09年に実用新案権と商標権を取得した。印箔の考案で、同年には中小企業基盤整備機構(中小機構)から地域資源を産業に生かす事業者として認定を受けた。「マジック」への金箔ジーンズ出展は、中小機構から招請を受けて決まったという。

展示会は2月21〜23日にラスベガスで開催される。木戸口さんは「欧米人には、日本らしい見た目の品が喜ばれやすい。『メード・イン・ジャパン』の美しさとおしゃれを海外で示したい」と話した。



金箔を貼り付けたジーンズやシャツを確認する木戸さん  
—金沢市大額3丁目